

申請先: 一般財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「GISユニット」製品 地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト

※記入上の注意(詳細な記入ルールは、「チェックリスト記述説明」シートを参照してください)

オレンジ色網掛けセルは、必ず記入してください

黄色網掛けセルは、記載条件を確認の上、必要に応じ記入してください

APPIC 登録番号: K000363-0019 ★APPICで記載

※赤字部分は、V3.5からV3.6の変更箇所を示す。

(1) 対象標準とバージョン

APPIC-0002-2021

- ・GIS共通サービス標準仕様V3.2
- ・**プラットフォーム通信標準仕様V3.3**

(2) 地域情報プラットフォーム準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日): 2021年12月16日

(b) 申請区分(新規、修正、破棄): 新規

(c) 申請者

| | | |
|------------|---|---|
| 団体名: | 国際航業株式会社 | ★識別キー項目1 (識別キー項目3つで ユニークになるように 申請者が指定する) |
| 団体のURL: | http://www.kkc.co.jp/ | |
| APPIC会員番号: | K000363 | |

(d) 製品情報

代表製品名: Genavis ★識別キー項目2

製品説明のURL: http://www.kkc.co.jp/service/admin_support/intro_integrated_gis/index.html (オプション)

複数製品で構成する場合は追記: (オプション)

複数製品で構成する場合は追記: (オプション)

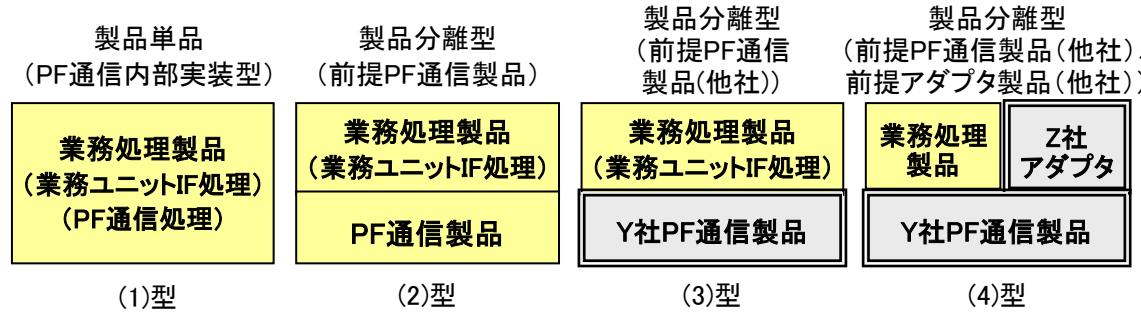
複数製品で構成する場合は追記: (オプション)

製品識別情報(バージョン等): 地域情報プラットフォームオプションV1.6 ★識別キー項目3

リリース日(予定)(西暦月日): 2021年4月1日

対応OS: Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016

製品の形態((1)型から(4)型): (1)型



前提となるPF通信製品(オプション)

前提PF通信製品名: (※1)

前提PF通信製品名: (※1)

前提のアダプタ製品名: (※2)

※1 (2)型から(4)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。

※2 (4)型の場合、GISユニットのサービスインターフェースを実現するアダプタ製品の製品名を記載する。

(e) 製品のクラウドでの提供について

提供の有無: 構築実績あり

参考となる情報(オプション):

対応可能なネットワーク(オプション)

| | |
|-----------|------|
| LGWAN: | 実績あり |
| 専用線(閉域網): | 実績あり |
| インターネット: | 実績あり |

(3) 地域情報プラットフォーム準拠確認チェック項目(準拠ルール)

◎:対応、○:制約のあるもの(制限事項をシートの最後の備考欄に記載する↓)

| 番号 | 要件 | | 準拠ルール | 必須/選択 | 製品・システム確認 | APPLIC確認欄 |
|-------|-------------------|---------------------------|--|-----------|-----------|-----------|
| 1 | 地名辞典サービス | | GISユニットは地名辞典サービスを実装し、他業務にサービスを提供できること | 必須 | ◎ | ○ |
| 1-1 | | 地名辞典サービスの基本機能 | 地名辞典サービスは、次に示す機能を提供することただし、"選択"の機能の提供は任意でよい | 必須 | ◎ | |
| 1-1-1 | | 地理識別子検索機能 | 地名辞典サービスは、地理識別子検索機能を提供すること | 必須 | ◎ | |
| 1-1-2 | | 場所インスタンス取得機能 | 地名辞典サービスは、場所インスタンス取得機能を提供すること | 必須 | ◎ | |
| 1-1-3 | | 場所インスタンス登録機能 | 地名辞典サービスは、場所インスタンス登録機能を提供すること | 選択 | ◎ | |
| 1-1-4 | | 場所インスタンス更新機能 | 地名辞典サービスは、場所インスタンス更新機能を提供すること | 選択 | ◎ | |
| 1-1-5 | | 場所インスタンス削除機能 | 地名辞典サービスは、場所インスタンス削除機能を提供すること | 選択 | ◎ | |
| 1-1-6 | | サービスメタデータ取得機能 | 地名辞典サービスは、サービスメタデータ取得機能を提供すること | 選択 | ◎ | |
| 1-2 | | 地名辞典サービスの場所インスタンス関連機能 | 地名辞典サービスは、次に示す機能を任意で提供すること | 選択 | ◎ | |
| 1-2-1 | | 地理識別子変換機能 | 地名辞典サービスは、地理識別子変換機能を提供すること | 選択 | ◎ | |
| 1-2-2 | | 場所インスタンス関連検索機能 | 地名辞典サービスは、場所インスタンス関連検索機能を提供すること | 選択 | ◎ | |
| 1-2-3 | | 場所インスタンス関連登録機能 | 地名辞典サービスは、場所インスタンス関連登録機能を提供すること | 選択 | ◎ | |
| 1-2-4 | | 場所インスタンス関連削除機能 | 地名辞典サービスは、場所インスタンス関連削除機能を提供すること | 選択 | ◎ | |
| 1-3 | 地名辞典サービスのインターフェース | | 地名辞典サービスは、附録1.2.1のWSDL定義に従ったインターフェースによる機能を提供すること | 必須 | ◎ | |
| 1-4 | GISDB(地名辞典) | | GISユニットは、地名辞典サービスのインターフェース定義に準拠したサービスができるようにGISDBで地名辞典を蓄積・管理できること | 必須 | ◎ | |
| 1-5 | 地名辞典データの交換 | | GISDB内の地名辞典データは、異なるGISユニット間で交換できる必要があり、GISユニットは、以下の機能を提供できること | 必須 | ◎ | |
| 1-5-1 | | 交換用地理空間データエクスポート機能(地名辞典) | 附録3で規定されるスキーマ仕様に従って、GISDB内の地名辞典データを、交換用地理空間データへ符号化してエクスポートできること | 必須 | ◎ | |
| 1-5-2 | | 交換用地理空間データインポート機能(地名辞典) | 附録3で規定されるスキーマ仕様に従って、交換用地理空間データを復号化して、GISDB内の地名辞典データとしてインポートできること | 必須 | ◎ | |
| 1-5-3 | | 座標参照系と座標の表記 | 「6.2 座標参照系と座標の表記」で定められた、座標参照系と座標の表記に従った地名辞典データの交換ができること | 必須 | ◎ | |
| 2 | 地図表示サービス | | GISユニットは地図表示サービスを実装し、他業務にサービスを提供できること | 選択 | ◎ | |
| 2-1 | | 地図表示サービスの基本機能 | GISユニットが地図表示サービスを提供する場合、地図表示サービスは次に示す機能を提供することただし、"選択"の機能の提供は任意でよい | 条件付必須(※1) | ◎ | |
| 2-1-1 | | 地図画像取得機能 | 地図表示サービスは、地図画像取得機能を提供すること | 選択 | ◎ | |
| 2-1-2 | | 地図画像URL取得機能 | 地図表示サービスは、地図画像URL取得機能を提供すること | 条件付必須(※1) | ◎ | |
| 2-1-3 | | 凡例画像取得機能 | 地図表示サービスは、凡例画像取得機能を提供すること | 選択 | ◎ | |
| 2-1-4 | | 地物情報取得機能 | 地図表示サービスは、地物情報取得機能を提供すること | 選択 | ◎ | |
| 2-1-5 | | サービスメタデータ取得機能 | 地図表示サービスは、サービスメタデータ取得機能を提供すること | 選択 | ◎ | |
| 2-2 | 地図表示サービスの主題図機能 | | GISユニットが地図表示サービスを提供する場合、地図表示サービスは次に示す機能を任意で提供すること。 | 選択 | ◎ | |
| 2-2-1 | | 主題図画像取得機能 | 地図表示サービスは、主題図画像取得機能を提供すること | 選択 | ◎ | |
| 2-2-2 | | 主題図画像URL取得機能 | 地図表示サービスは、主題図画像URL取得機能を提供すること | 選択 | ◎ | |
| 2-3 | | 地図表示サービスのインターフェース | 地図表示サービスは、附録1.2.2のWSDL定義に従ったインターフェースで機能を提供すること | 条件付必須(※1) | ◎ | |
| 2-4 | | GISDB(地図データ) | GISユニットは、地図表示サービスのインターフェース定義に準拠したサービスができるように、GISDBで地図データを蓄積・管理できること | 条件付必須(※1) | ◎ | |
| 2-5 | 地図データの交換 | | GISDB内の地図データは、異なるGISユニット間で交換できる必要があり、GISユニットは、以下の機能を提供できること | 選択 | ◎ | |
| 2-5-1 | | 交換用地理空間データエクスポート機能(地図データ) | 自治体で定めるスキーマ仕様に従って、GISDB内の地図データを、交換用地理空間データへ符号化してエクスポートできること(※本項目を"対応"とした場合、GISユニット製品が対応可能なスキーマ仕様について備考欄(前提条件や制限事項)に記載のこと) | 条件付必須(※2) | ◎ | |
| 2-5-2 | | 交換用地理空間データインポート機能(地図データ) | 自治体で定めるスキーマ仕様に従って、交換用地理空間データを復号化して、GISDB内の地図データとしてインポートできること(※本項目を"対応"とした場合、GISユニット製品が対応可能なスキーマ仕様について備考欄(前提条件や制限事項)に記載のこと) | 条件付必須(※2) | ◎ | |
| 2-5-3 | | 座標参照系と座標の表記 | 「6.2 座標参照系と座標の表記」で定められた、座標参照系と座標の表記に対応した地図データの交換ができること | 条件付必須(※2) | ◎ | |
| 3 | PF通信機能 | | プラットフォーム通信標準仕様のPF通信機能を持つこと | 必須 | ◎ | ○ |
| 3-1 | | SOAP通信 | プラットフォーム通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと | 必須 | ◎ | |
| 3-2 | | XML処理および共通ヘッダ処理 | PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、プラットフォーム通信標準仕様として公開されるXMLスキーマにて定義される共通ヘッダの処理ができること | 必須 | ◎ | |
| 3-3 | | メッセージ交換パターン | PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること | 必須 | ◎ | |

注(※1):「2 地図表示サービス」を提供する製品として登録する場合、必須機能である。

注(※2):「2-5 地図データの交換」に対応できる製品として登録する場合、必須機能である。

備考欄(前提条件や制限事項について、「製品・システム確認」欄の○についての説明を記載してください)(オプション)

・地名辞典データの交換において、対応する座標参照系は JGD2000 / (B, L), JGD2000 / 1 (X, Y) ~ JGD2000 / 19 (X, Y) です。

・地図データの交換において、標準で対応するスキーマ仕様は ESRI シープファイルになります。